

DEX Business Server

バージョン 3.02リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「DEX Business Server」(Ver.3.01-01→Ver.3.02-01)において、
下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下のブラウザに対応しました。
<サーバ、クライアント>
 - ・ Internet Explorer 9
- ◎以下のブラウザを動作対象から除きました。
<サーバ、クライアント>
 - ・ Internet Explorer 6

[インストール関連]

- ◎クライアントのバージョンアップで、バージョンアップ前の設定を引き継げるようにしました。

[運用管理機能関連]

- ◎指定した文字列をフォルダ名に含むフォルダ定義だけをフォルダ一覧画面に表示できるようにしました。
- ◎ファイル一覧画面の表示内容を[登録日時]順でソートできるようにしました。
ソートする場合には、ソート順の初期状態として「昇順」「降順」のいずれかを指定できます。

[API 機能関連]

- ◎コマンドラインユーティリティの **DELETE** コマンドを以下の条件で実行できるようにしました。
 - ・ 指定された日以前のドキュメントを削除する
 - ・ 指定された日数分のドキュメントを残し、それ以外のドキュメントを削除する
 - ・ すべてのフォルダのドキュメントを削除する

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[ファイル転送機能関連]

- ・ 電子メールで、添付ファイル名が **RFC2231** 形式でエンコードされているメールを受信しようとする時、「DEX Business Server Service」が停止する。

- ・電子メールで、「SMTP Auth」を使用してメールを送信すると、エラーが発生する。
- ・電子メールで、メールの受信中に「DEX Business Server Service」が停止することがある。

[運用管理機能関連]

- ・クライアントでフォルダ定義の削除を行うと、ブラウザのタイムアウトが発生する。
- ・「DEX Business Server Service」を停止せずに OS をシャットダウンすると、「DEX Business Server Service」を起動できなくなることがある。

[セキュリティ関連]

- ・SSL 通信で異常が発生すると、「DEX Business Server Service」が停止することがある。

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

サーバ環境

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.0	Windows Server 2003 Enterprise Edition SP2	○	—
	Windows Server 2003 R2 Standard Edition SP2	○	—
	Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition SP2	—	○
	Windows Server 2008 Standard Edition	○	—
	Windows Server 2008 R2 Standard Edition	—	○
	Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition	—	○

○：確認済み —：対象外

クライアント環境

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.0	Windows 7 Professional Edition	○	○
	Windows 7 Ultimate Edition	—	○

○：確認済み —：対象外

<前提条件>

仮想環境で利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作する必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上